



# よこはま 支部だより

issue 2011.1.1  
VOL. 53

Ⓐ 社団法人 神奈川県建築士会 横浜支部

THE YOKOHAMA BRANCH, KANAGAWA PREFECTURE SOCIETY OF ARCHITECTS & BUILDING ENGINEERS

CONTENTS	
●新年のご挨拶 ○横浜支部長 山成芳直	p1
●日帰り研修バス旅行 ～H22.10.25 日帰りバス 旅行に参加して～	p2
●近代建築世界一周 No3 ～ブラジルの旅～ ○桜本将樹	p4
●椅子が語りかけること ○技術情報委員会	p6
●ワイン同好会だより ～第29回ワイン同好会に 参加して	p7
●絵画同好会だより ～H22.10.16 スケッチ会開催～	p8
●部会紹介 ○技術支援委員会 子どもの生活環境部会	p9
●テニス同好会だより ～定例会・総会報告(抜粋)～	p10
●広報委員会から お知らせ・編集後記	p11
●建築確認・開発 セミナーのお知らせ ○横浜市建築局建築審査課	p12
編集 広報委員会 発行 社団法人 神奈川県建築士会 横浜支部事務局 担当：大平  231-0011 横浜市中区太田町2-22 神奈川建設会館5F TEL：045-201-1284 FAX：045-201-0784	

## 新年のご挨拶

横浜支部長 山成芳直

新年明けましておめでとうございます。旧年中は支部会員、賛助会員の皆様には支部事業運営にご協力いただきまして誠に有難うございました。引き続き本年もご協力賜りますようお願い申し上げます。

私事ですが昨年6月に支部長を拝命し、あっという間の半年でした。歴代の支部長をはじめ支部活動にご協力いただいた方々が築かれた実績をしっかりと引継ぎ、少しでも前進させて後年に引き継いでいくのが私の使命であると心得ている次第です。そのためにも皆様方からのご協力が欠かせないと感じております。どうか忌憚の無いご意見等をお寄せいただきたく存じます。微力ながら皆様から魅力を感じていただける支部となりますよう努めてまいりますので宜しくお願い申し上げます。

さて、神奈川県建築士会では社団法人制度変更に関して昨年の総会で平成25年度から当面の間、一般社団法人に移行することを目指すこととなりました。

支部活動は会員同士の親睦を目的として設立され活動を続けてまいりましたが社団法人制度変更の趣旨のひとつでもある『公益性の担保』を支部活動においても配慮しなくてはならないと考えております。未経験な制度変更であり困難も予測されますが横浜支部には活動のサポートとして経験を積んだ活動委員が多数所属しておりますので変化にも対応できるものと信じております。会員ニーズに基づいた支部活動の充実が神奈川県建築士会全体の活動の充実、

(次頁へ続く)

魅力の向上、公益性への寄与につながっていくものと考えております。

ところで、様々な規制強化や市場からの要求など建築士は様々な業務で多くの課題に直面しています。建築士会の特徴のひとつは様々な業務分野の建築士が所属していることです。支部活動をはじめ建築士会の事業に是非ご参加いただき、日常の課題についても情報交換をいただければ課題解決の一助になるのではないかと感じている次第です。

話題が変わりますが、広島県尾道市が舞台のひとつになっているNHK朝のドラマ『てっぱん』は最近、私の気に入っている番組の一つです。私の郷里の近くが舞台という事もドラマに惹かれる理由かもしれませんがそれ以上にドラマに惹かれる理由は主人公が発揮する“調整力（折り合いをつける）”に在ります。意見・目的の相違、利害対立など様々な困難に主人公は直面しますがあきらめずに登場人物と折り合いをつける調整力を発揮し物語が進んでいきます。

この“調整力（折り合いをつける）”こそ現在の世の中において求められている（欠けている）重要事項であると思います。同時に建築士が有している誇れる能力のひとつであると思います。建築士を目指してから以降、現在に至るまで皆様は日々、調整力に磨きをかけてきた事と思います。調整力の優れている建築士の皆様方は様々な分野において今後必要とされてくるものと信じている次第です。

色々とお申し上げてまいりましたが支部会員および賛助会員の皆様には本年が幸多い一年となりますようお祈り申し上げ新年のご挨拶に代えさせていただきます。

敬具

## 11/25（木）日帰りバス旅行に参加して

11月25日（木）建築士会横浜支部主催の日帰り研修バス旅行に参加しました。今回の企画は、午前中に東急東横線渋谷駅地下工事を見学し、日本橋のゆかりで昼食、パソナテック丸の内本社ビル見学、新木場木材会館見学、最後に三菱1号館美術館見学というものです。

どれも興味のある見学場所ですが、私が特に期待していたのは、地下鉄の工事現場です。道路の中央の、ここが入り口とは思えないような狭い入り口から地下25メートルまでひたすら架設の階段を下りながら、土木工事のスケールに圧倒されてしまいました。連壁による土留めも25メートルとたいした物で、よく工事したと思います。代官山までのボックス・カルバート部分は最新の特注掘削機で工事がおこなわれ、壁はPC部材で少しずつ組み立てていくとのことでした。渋谷側からは、既にきれいなトンネルが出来ておりました。普段、建築関係の人は見ることがない所を見学させて頂き、企画した方々に感謝です。



地下鉄工事現場

次に、日本橋ゆかりで昼食を取りました。鉄人を破った料理人のお店ということで楽しみにしておりましたが、期待通り美味しかったです。この会費でこんなに旨いものを食べさせてくれるのかと、また感謝。その日一番得をした気分でした。

食事の後は、ビルの中でお米を作っているパソナテックを見学しました。感想として、日本のように気候が良い所では必要性は感じませんが、地球全体では砂漠化も進んでいるので有効なのだと思います。

次の見学先。バスでしばらく走って、木場の木材会館へ向かいました。ファサードは木とコンクリートの感じがなかなかです。最上階の木造のホールは木の梁がすごいです。それに比べると貸し事務所部分はいまひとつです。

でも、とにかく木は贅沢に使われています。最後に三菱1号館の見学。よく復元したと思います。高層ビル群の中にあつて、レトロな感じがとてもいいです。

今回の旅行は、盛りだくさんでとても一日楽しかったです。これからも、面白い旅行を企画して下さい。また参加したいと思います。  
(記：池谷 透)



昼食メニュー



木材会館(内部)



木材会館(外観)



木材会館にて

## 近代建築世界一周 (No. 3) —ブラジルの旅—

### 【はじめに】

私の「近代建築世界一周」の旅は北米からスタートし、メキシコの旅を終えて、今回は多くの近代建築の存在するブラジルを紹介します。ここでは、ル・コルビュジェとともに仕事をしたこともあり、100歳を超える現在でも斬新なデザインを続ける建築家オスカー・ニーマイヤーの作品に出会うことができます。

### 【旅の行程】

ニーマイヤーの作品を巡るため、主にサンパウロ、ブラジリア、ベロオリゾンテ、リオ・デジャネイロ（ニテロイ）の4都市を訪れました。特にベロオリゾンテのパンプーリャ湖畔にあるニーマイヤー初期作品群には、近代建築の直線美とニーマイヤー独特の曲線の作品を同時に見ることができます。

### 【交通・参考図書】

4都市間の移動は飛行機を利用し、それぞれの都市では目的の建築作品までタクシーで30分程度ですので、比較的見学がしやすいと言えます。効率的に廻れば、1週間の旅でニーマイヤー建築を堪能できます。ブラジリアでの見学は『GUIA DE URBANISUMO, ARQUITETURA E ARTE BRASILIA』が30近く近くのニーマイヤー作品を地図付きで掲載されていて便利です。

### 【近代都市ブラジリア】

ブラジリアと言えば、上空から見ると飛行機の形をしているブラジルの首都です。(写真①) 1956年の発案からわずか4年で完成し遷都された近代都市で、その多くの建物の設計を担当したのがオスカー・ニーマイヤーです。そのためニーマイヤーの作品博物館のようでもあり、また当時、最先端の近代建築の知られざる宝庫でもあります。この都市自体が1987年世界遺産にも登録されています。

### 【ブラジル建築のベスト5】

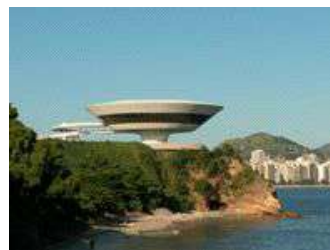
ベスト5に入るのは、殆どニーマイヤーの作品となりますが、主にブラジリアには、ニーマイヤー以外の建築家の作品も大胆な近代建築の秀作が多く、再度訪れたい魅力的な都市に挙げるすることができます。

#### 1. ニテロイ現代美術館 1996年 (0・ニーマイヤー) ニテロイ (写真②)

ニーマイヤーによる驚愕の造形作品。美しい海岸沿いの岬に突然現れる光景は、重力を無視した円盤が、岬に着陸しているかのようです。作品としては現代建築の部類に入りますが、世界中を旅する中でも、この驚愕の光景に匹敵するものはありません。さらに驚くのは、ニーマイヤー89歳の歳に完成した作品ということです。アプローチは美しく長く曲がりくねったスロ



①首都ブラジリア



②ニテロイ現代美術館 1996年



③ダンスホール 1940年



④カジノ(現 美術館) 1942年



⑤パンプーリャの建物 年代不明



⑥ブラジリア国会議事堂 1958年

ープに引き寄せられるように上空へ導かれ、空中にある入口へ到達し、まるで宇宙船に乗り込むかのようです。

## 2. ダンスホール 1940年 (O・ニーマイヤー) ペロオリゾンテ (写真③)

現代の過激な造形のニーマイヤーの作品と比較すると、控えめな造形ながら、女性の曲線を参考にしていうニーマイヤーの独特な曲線美に触れることができる作品です。ダンスホールの建物自体は、小さな円形のホールですが、この建物のポイントは、外部に続くキャノピー部分の空間の美しさにあります。夕日に照らされた湖の水面に浮かぶキャノピーが曲線の美しさを際立たせています。パンプーリャ湖畔には、このほかカジノ (写真④)、ヨットクラブ、教会など多くのニーマイヤー初期の作品に出会えますが、そんな大胆な作品群の影響か、無名の大胆な造形の建物も存在します。(写真⑤年代作者不明)



⑦ブラジリア国防省 1968年



⑧カテドラル 1970年

## 3. ブラジリア国会議事堂 1958年 (O・ニーマイヤー) ブラジリア (写真⑥)

飛行機の形状を模したブラジリアの都市のコックピットにあたる場所に位置する三権広場にあり、まさにブラジリアを象徴する建物になります。議員会館が入る28階のツインビルの両端に巨大な円形のクーポラが上下を逆にして並べられています。中央にかかる巨大で手摺のないスロープも含めて、幾何学で構成された形状が印象的です。その他、国防省の建物の屋外ステージ (写真⑦) やガラスで覆われたカテドラル (写真⑧) も見ごたえがあり、まるで巨大彫刻庭園を散策しているかのようです。



⑨ドンボスコ聖堂 1964年

## 4. ドンボスコ聖堂 1964年 (カルロス・ネイヴス) ブラジリア (写真⑨)

外観は四角い建物ですが、壁面4面ともにはめられたステンドグラスがこの上なく美しい聖堂です。深い青から青紫にグラデーションをつけた12種類のガラスがちりばめられた光景は、光が上部から降り注いでいるように輝いて見えます。それはまるで、深い海の底から水面を見上げたような情景を思わせ、神聖な雰囲気満たされています。



⑩コスタエシルバブリッジ 1969年

## 5. コスタ・エ・シルバ・ブリッジ 1969年 (O・ニーマイヤー) ブラジリア (写真⑩)

プレジデンテ・コスタエシルバ・ブリッジ (1973年) と言えば、リオデジャネイロとニテロイを結ぶ全長12.9kmの有名な橋ですが、こちらはブラジリアの人造湖に浮かび、ニーマイヤーの設計したこの上なく美しい橋です。水面に写る限りなくゆるいカーブが魅力的です。

ブラジルでは、ニーマイヤーの作品に多く出会い、その彫刻的な形状に魅せられますが、その他、ブラジリア大学諸施設をはじめ、無名ですが大胆で美しいプロポーションの近代建築が多く存在します。世界中にはまだまだ未知の美しい近代建築が存在することを実感し、また現代の作品群がそれらを超えているのかを改めて考えさせられます。

参考文献『近代建築世界一周』ADP出版 桜本将樹

『GUIA DE URBANISUMO, ARQUITETURA E ARTE BRASILIA』

建築士会会員 桜本将樹

## 椅子が語りかけること (「椅子を創る」4回シリーズ 講師 小田原健氏)

(技術・情報委員会 樺澤正夫)

「椅子を創る」第2回「椅子のスケッチを描く」は、自分の好きなイスを思い描き、自らの感性で自由に発想し、各自が腰かけたい・創りたいと思う椅子のアイデアスケッチを持ち寄り、当日、どんな時にどのように座りたいのか。どのような材料や作り方を考えたのか。色は・形はと、それぞれの思うところを発表し、それに対して講師に講評していただくという方法で進められました。

デスクワークで使う椅子は、座面を前傾させ身体への疲労が少なくなるように考えられていたり・・・、孫を膝の間に抱き込んで座り、その二人を包み込むような和やかな風情の椅子・・・、寛ぎの時に、寛ぎの種類によって座面と背面の角度を替えられる椅子・・・、等々。

イメージ段階のスケッチあり、要所々々の寸法まで入ったもの、想いのメモを書き連ねたもの、カタログから飛び出てきたような彩色鮮やかなものなど、スケッチも多種多様なものでした。

参加者23名の想いの発露とスケッチから、この講座と椅子に対する関心の深さをうかがい知ることができました。

身体が吸い付くような馴染み良さ・心が開放されるような座り心地・自分の身体だけにフィットするイス・大工職でも作れる造作材の端切れの有効利用など、多様なコンセプトも語られ、正にゼミナールであり師匠と弟子とのコラボレーションです。

1人の発表を23人が聴き、途中で講師あるいは参加者が質問する。そして作者はもっと深いところの意図を掘り起こすように応答する。これらが23回繰り返されました。

作者の意図がほぼ語りつくされたら講師が判断すると、拍手を合図に講評へと切り替えられます。

講評は、それぞれの持ち味を引き立たせ、どのように創り上げて行くのがよいのか、作者の考え方を確認しながら助言を重ねる、という方法をとられたので、参加者にとってこの上も無く豊富な知識やアイデアの吸収の場となったと思います。

濃厚なアイデアが次々と披露され、講師はユーモアまじりに吉村順三氏との関わりのある話、外国のデザイナーのこと、講師の海外における活動の話なども織り交ぜて、講評・助言されました。

熱気を帯びた会場は、終了予定時刻が過ぎても退場する人の気配も無く、大幅に時間が過ぎても盛り上がり途切れる様子も無い状況で、司会者もどこで止めるか悩ましいばかりでした。

仕事の関係で初参加の人もいましたが、このようなやり方で進めてもらってれば、前回の内容も理解でき、途中参加という感覚も無いとの感想を述べていました。

第3回「椅子の製作図面を描く」、第4回「1/5の模型を作る」と続くのですが、早く実物を作って、ワイングラスを片手にF. L. ライトの作品集でも眺めたい心境です。



講師との和やかなやり取り



講師による講評・助言

## 第 29 回 ワイン同好会に参加して

11月5日(金)、横浜ポートサイドのレストランで開催されたワイン同好会に初めて参加させていただきました。本格的にワインを楽しめる素敵な会でした。

当日のワインは白3本、赤3本の計6種類。順にご紹介したいと思います。

乾杯と共に頂いたのが、ムルソー '98 (白) (仏・ブルゴーニュ) 作り手「ピエール・モレ」。上品で奥深くハチミツも感じさせるような味に、見た目も美しい黄金色の白ワインです。ムルソー村は特級畑(グランクリュ)が無く、1級畑(プルミエクリュ)が最高で、高い税金がかけられるのを嫌った栽培者たちがグランクリュの格付けをしてこなかったとのこと。格付け外のその美味しさに感激しました。

続いてレザム・ド・ラグランジュ '06 (白) (仏・ボルドー・サンジュリアン・AOC) と、タルボ・カイユ・ブラン '06 (白) (仏・ボルドー・サンジュリアン・AOC) の2本は、ぶどう種のソーヴィニオン・ブランが60%と100%の違いがあり、同時に味わうことで微妙なニュアンスを楽しめるものでした。

次に赤ワインのシャサーニ・モンラッシュ・クロ・サン・ジャン '01 (赤) (仏・ブルゴーニュ) 作り手「ギィ・アミヨ」は、なで肩のブルゴーニュ瓶に入ったフルボディ。産地のモンラッシュ村は白ワインと同じくらい赤ワインも生産しているとのこと。人気があつて一番に無くなってしまいました。

シャトー・デュ・テルトル '06 (赤) (仏・ボルドー・マルゴー・格付第5級) は、重厚な味で魅了されました。頂いたワインリストによると1998年に所有者が変わってから劇的に変化を遂げたとのこと。1級から5級まであるメドック格付けシャトーの中で最も過小評価されていると言われているそうです。こちらも大変美味しく頂きました。

最後にシャトー・カザン '02 (赤) (仏・ボルドー・ポムロール地区) です。この頃になると、皆さんどのワインがお気に入りかを語り合うようになっていました。ワインは各種類がカウンターに並んでおり、各自で飲みたいものを飲みたい量だけグラスについて飲むという、気軽なスタイルで大いに盛り上がりました。初参加で緊張しましたが、美味しいワインの数々が楽しく談義をさせてもらい、あっという間に時間が過ぎてゆきました。また今回好みのワインに出会えたことも嬉しく思います。素敵な会をありがとうございました。(記:小野綾子)



右:ムルソー

左:レザム・ド・ラグランジュ



下:シャトー・カザン



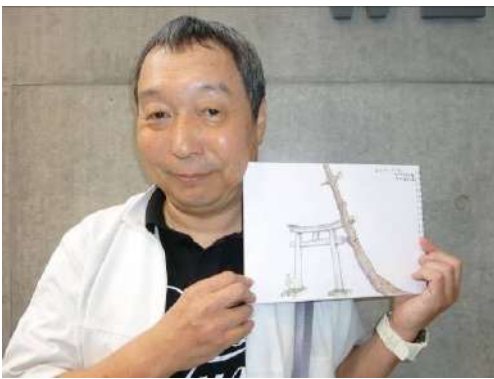
# 「絵画同好会」だより

～平成22年10月16日スケッチ会開催～

今回は、昨年10月南青山に、オープンした隈研吾氏の設計による話題の〈根津美術館〉にて、直線とガラスを多用した、新しい「和の空間」を体感し、創立70周年記念特別展「南宋の青磁」を鑑賞しました。また、千利休の茶室の極意に倣って造られ、四つの茶室が点在する、17,000㎡の庭園で、スケッチ会を催しました。



根津美術館にて



- ① 高杉 幹英 会員の作品
- ② 菊池 紀代子 会員の作品
- ③ 藤井 利時 会員の作品
- ④ 高橋 伸廣 会員の作品
- ⑤ 鈴木 洋子 会員の作品

①	②
③	④
⑤	



子どもの生活環境部会 野地 春子

女性委員会の1分科会として発足して、早十数年。私が部会に参加し、活動を始めたころ生まれた娘が中学生です。

発足当初は、子どもの生活についての勉強会で、子どもの居場所の調査などをしました。そのうち、「建築士として子どもに何が出来るか。」を考え始め、「社会への発信」をするようになりました。

初めは「何をしたらよいか」も分からず、子ども向けの活動をしていた方にお話をお聞きしたり、子ども対象の活動に関する書籍を部会内で回し読みをして、勉強しました。1年に1回のペースから徐々に活動が盛んになり、今では、年数回の企画を行っています。おかげ様で、学校や他団体から企画の依頼を受けるまでになりました。

藤沢市の学童クラブのように、毎年恒例になった企画もあります。

工作教室、建物探検、授業支援（住教育）など依頼に応じた企画をその都度作っています。部会員全員で検討し、意見を出し合い、皆で作り上げます。

大変なことも多いですが、何よりも子どもたちと触れ合い、子どもたちが取組む姿を見ることで、充実感を得ることが出来ます。それを次のパワーにして、活動を続けています。

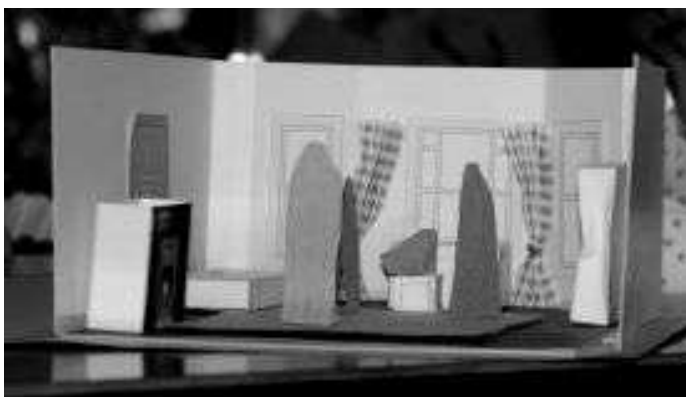
右の写真は、夏休みに藤沢市の学童クラブで行った「スチレントレー基地、大作戦」のワンシーンです。小学1年生から6年生まで一緒になって一つの作品を作りました。

去る11月21日には、12月26日に行う「もし洋館に住むのなら…」のシュミレーションおよび企画検討会を行いました。下の写真は、その時試作した「お部屋キット」です。外部スタッフとして学生さんも多数の参加があり、企画の詳細を検討するのに力を借りています。



11月には、福祉部会との共催で「発達障害の環境整備（基礎編）」として、研修会をしました。子どもに関わる機会の多い、当部会員は皆、「とてもためになった」と手ごたえを感じています。

今後多くの方に支えられながら部会活動を発展させていくことと思います。温かく見守っていただければ幸いです。



# テニス同好会だより



## 定例会報告

・平成22年6月12日(土)

練習 PM 7:00~9:00

金沢産業振興センターAコート 参加6名

いつもより遅い時間でしたが、  
梅雨入り前の気持ち良い天候の中、いい汗をかきました。



・平成22年7月17日(土)

練習 PM 7:00~9:00

金沢産業振興センターAコート 参加7名

遅い時間帯でしたが7名の参加があり、1面での練習なので  
ゲームを中心に行いました。



・平成22年8月14日(土)

練習 PM 5:00~7:00

金沢産業振興センターA・Bコート 参加8名

今回は、夏期休暇も絡んでいるので参加者が少ないかと思いましたが、  
久しぶりの参加者も有りよかったです。

夕方とはいえ、とても蒸し暑かったので、1面でちょうど良い感じで  
練習できました。



・平成22年9月11日(土)

練習 PM 5:00~7:00

金沢産業振興センターA・Bコート 参加12名

・久しぶりに参加者が多く、ゲーム中心にたっぷり  
練習が出来ました。



暑気払いPM7:45~ 新杉田 参加13名

・今年は猛暑のため9月に入っても暑さが続いていたので、暑気払い  
できました。多くの参加で遅くまで  
盛り上がりました。



・平成22年11月13日(土)

練習 PM 5:00~7:00

金沢産業振興センターCコート 参加8名

気候もちょうど良くて、ゲーム中心に練習しました。





### 第三回 横浜支部 テニス同好会 (K. Y. T) 総会 報告 (抜粋)

去る6月19日(土)横浜支部総会懇親会の後PM7:00からテニス同好会の総会を開催いたしました。

出席者10名

#### 1. 同好会趣旨

あくまでもスポーツの同好会です。仲良く楽しく出来るよう皆さんで協力する。

#### 2. 役員改選 会長 内山(再任) 副会長 廿日出(新任)、鈴木(新任)

役割分担: コーチ、コート予約・会計・連絡、記録・写真、ボール管理、企画(試合・合宿)

#### 3. 活動計画

1) 定期練習 毎月第二土曜 pm5:00 ~7:00

2) 試合予定 磯子区民大会: 団体戦 5月

各自でペアを組み積極的に下記大会に参加する

磯子区民大会: 個人戦 9月、横浜市民大会: ダブルス4月、シングルス11月、

横浜 シーサイドピアテニス大会(金沢振興センター): 個人戦 ダブルス10月末

#### 4. その他 意見交換

### 同好会会員募集中!

テニスに関心のある方どなたでも参加可能です。特に女性大歓迎!お気軽に連絡下さい。

ご連絡の際はメールの場合でもお名前、連絡先の記入をお願いします。

定期練習日は会場が抽選のためその都度変わる可能性があります。

連絡先: 玉野 045-894-8452 FAX893-6614

### 広報委員会からのお知らせ

○横浜支部ブログへの投稿をお待ちしております!!!

支部へのご要望、支部だよりについてのご意見など、なんでも結構です。

なお、ブログへ書き込む際は、以下のID・PWをご使用ください。

ID: yokohama-sibu 、 PW: blog4us

(ブログアドレスはこちら: <http://blog.goo.ne.jp/yokohama-sibu>)

### 編集後記

いつの間にか師走の声も過ぎさり、あっという間に新しい年がやってきました。

昨年の夏は記録的な猛暑が続き、秋を感じる間もなかったような変な年でした。昨年を漢字一文字で表わすと「暑」だそうです。あれだけ暑かったことさえ忘れつつある昨今の忘却力にも驚くばかりです。今年は果たしてどんな年になるのでしょうか。今年も皆さんのご健勝をお祈りしつつ、本年もどうぞよろしくお祈り致します。

### 編集 広報委員会

編集スタッフ(あいうえお順)

雨森隆子・大西正行・大北晋一郎・大貫 浩・桶師徳行・田川尚吾・玉野直美・丸山幸一

# 建築確認・開発セミナー

[申請中]

～横浜で設計・審査される方へ～

横浜市域を対象に業務を行う設計者や指定確認検査機関の皆様が日頃の業務で抱いた疑問や質問を解消し、確認申請等の手続きが円滑に行われるよう、建築基準関係規定等(建築基準法や建築基準条例、都市計画法に基づく許可など)に関するセミナーを開催します。

今回は、建築確認・開発許可に関する内容に加えて道路の取り扱い、構造、緑化協議、そして現在検討が進められている高度地区の扱いについて説明する予定です。

日時

平成 23 年 3 月 14 日 (月)

13:30～16:30 (13:15～受付開始)

会場

横浜市技能文化会館  
2階 多目的ホール

〒231-8575 横浜市中区万代町2丁目4番地7

{ JR 横浜市営地下鉄「関内駅」 徒歩 5 分

{ 横浜市営バス「伊勢佐木長者町駅」 徒歩 3 分

参加費

無料

受付の際、お申込後に返信された電子メールをプリントアウトしたものをご提示くださいますようお願いいたします。



内容

[予定]

## □ 宅地審査課+調整区域課

- ・ 開発許可・宅造許可の基本的考え方と、最近の基準改正
- ・ 市街化調整区域における建築行為・開発行為の考え方と、今後の基準改正

## □ 建築企画課

- ・ 横浜市高度地区の解説・取扱基準集に関する意見公募について

## □ 建築環境課

- ・ 省エネ、CASBEE 横浜、福祉のまちづくり条例における手続きについて

## □ 環境創造局開発調整課

- ・ 緑化地域制度における簡略な変更手続きについて

## □ 建築審査課審査係

- ・ 「横浜市建築基準条例第6条」避難上有効な出口及び敷地内の通路について
- ・ 「建築基準法第53条の2」敷地面積の最低限度を下回る敷地について
- ・ 横浜市建築基準条例・横浜市駐車場条例・横浜市ワンルーム形式集合建築物に関する指導基準の駐車施設について

## □ 建築審査課構造係

- ・ 構造上既存不適格建築物の増築・用途変更に関する取扱い

## □ 建築道路課

- ・ 建築基準法上の道路の取り扱いについて

募集

先着 250 名 ( 募集開始:平成 23 年 2 月 1 日(火) )

申込

お申し込みは、横浜市電子申請サービスのフォームをご利用していただきます。2月1日より建築審査課HPにて申込フォームページのリンク先を公開いたします。

建築審査課HP : <http://www.city.yokohama.lg.jp/kenchiku/center/kenchiku/>  
※定員になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申込ください。(フォームの入力ができなくなります。)

【お問い合わせ】横浜市建築局建築審査課 担当:小栗 TEL:045-210-9857